

学生が三原市人権教育・啓発推進計画に関する意見交換に参加

三原市との地域戦略協働プロジェクト事業 進捗状況報告

三原市との平成 30 年度の地域戦略プロジェクト事業として実施している「三原市人権教育・啓発の現状と今後の方向性について」において、下記のとおり学生と協働した事業を実施しました。

1. 平成 30 年度の進捗状況

- (1) 平成 29 年度に行った人権問題市民意識調査の結果を分析し、三原市 人権教育・計画指針及び、三原市人権教育・啓発推進計画の素案を県立大学の協力の下に作成した。
- (2) 2 回の人権行政推進協議会で素案に対する意見を頂き、反映させた。
- (3) 平成 30 年度第 1 回人権施策推進協議会を 10 月 29 日（月）に実施し、手島講師がオブザーバーとして参加した。また、協議会の終了後、県立大学の学生を交えて意見交換を行った。

2. 三原市人権教育・啓発推進計画に関する大学生との意見交換の概要

【意見交換対象】 県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 学生 若干名

【意見交換内容】 三原市人権施策推進協議会において協議されている「三原市人権教育・啓発推進計画（案）」の内容に関する質疑応答と学生としての意見の交換

3. 意見交換の内容への対応

前記の意見交換により得られた内容を今年度内に策定される予定の三原市人権教育・啓発推進計画策定において参考とする。

※ 三原市人権教育・啓発推進協議会の事務局である三原市人権推進課職員と県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科の学生との意見交換の様子

